

## 冬期におけるトルコギキョウの高品質な切り花 生産技術に関する現地検討会を開催します


 いばらき  
農 業  
アカデミー  
IBARAKI AGRICULTURAL ACADEMY

茨城県内では若手生産者を中心にトルコギキョウの生産に取り組んでいるところですが、秋～冬期に出荷する場合は高単価である一方、低温、低日照条件のため茎長が短くなるなどの品質低下が課題となっていました。そこで当研究所では、秋～冬期でも安定した高品質な切り花生産を可能とするため、EOD-FR※（日没後短時間遠赤色光照射）を利用した茎長増加技術を開発しましたので、下記により生産者に紹介します。

この技術により、秋～冬期の出荷量が増加し、売上増加が見込まれ、儲かる農業の一助となることが期待されており、今回の検討会では県内各地から花き生産者や関係者など30名程度の参加者を予定しております。つきましては、儲かる農業の実現に向けた研究の取組を県民に広く紹介していただきたく、ご案内いたします。

※EOD-FRとは日没後(End of Day)に短時間遠赤色光(FR)を照射をする技術。

### 記

【日時】令和4年12月16日（金） 14：00～16：00（受付開始 13：45）

【場所】茨城県農業総合センター園芸研究所

笠間市安居 3 1 6 5 - 1

【日程】1 室内検討（14：10～15：00）

EOD-FRを利用した栽培技術の開発について

2 ほ場検討（15：00～15：30）

3 総合討議（15：30～16：00）



写真1：EOD-FR処理の様子

今回、最適な照射時期や時間を明らかにしました。



写真2：EOD-FR処理の効果

（上：無処理区、下：処理区）

EOD-FR処理により多くの品種で開花が前進し、切り花長が増大しました。

※なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては開催を中止する場合があります。

「Thank You! いばらき農業」

【お問い合わせ先】

茨城県農業総合センター園芸研究所

研究調整監

金子 賢一

花き研究室長

市毛 秀則

TEL 0299(45)8340 FAX 0299(48)2545